

# Leader



## 2022年3月期 第3四半期 決算補足説明資料 リーダー電子（6867）

2022年2月4日

<https://www.leader.co.jp/>

Leader

# 2022年3月期 第3四半期 決算

---



<https://www.leader.co.jp/>

## 業績：売上高 対通期計画比64.5%

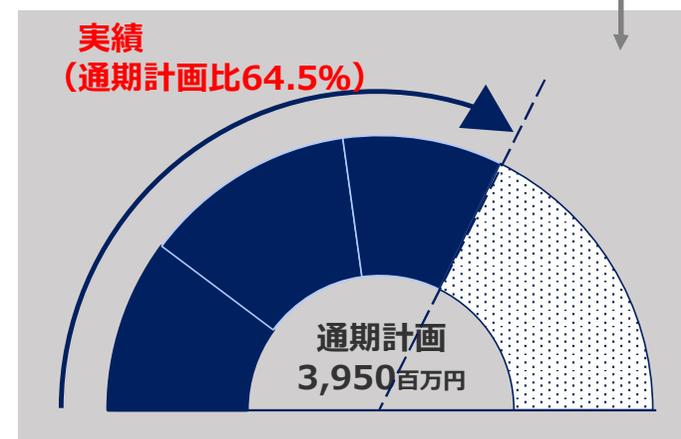
- 売上高：2,548百万円（前期比+9.7%）、経常利益27百万円  
海外市場は販売・受注好調。半導体など一部の部品調達においてサプライチェーンが停滞。  
結果として営業損益は9百万円の損失となった。

中国	設備投資意欲は、コロナ禍以前上回る勢い。4Kを中心に8Kも加わり放送関連市場全体が拡大。
北米	設備投資意欲は、コロナ禍以前上回る勢い。IP化が加速。
欧州	設備投資意欲は、コロナ禍以前上回る勢い。IP化が加速。
日本	設備投資意欲は想定以上に低調。

- 財務：自己資本比率 84.7%と盤石の財務基盤維持

## ■ 今期業績見通しについて

- 4K、8K、5Gへの市場拡大のトレンドは変わらず。
- 日本国内市場以外はIP化の勢いが加速。コロナ前を超える投資意欲の高まりがみられ、遅れを取ることがないよう積極的な投資を実施。
  - サプライチェーンの見直しを実施。早期納品により通期計画達成へ。

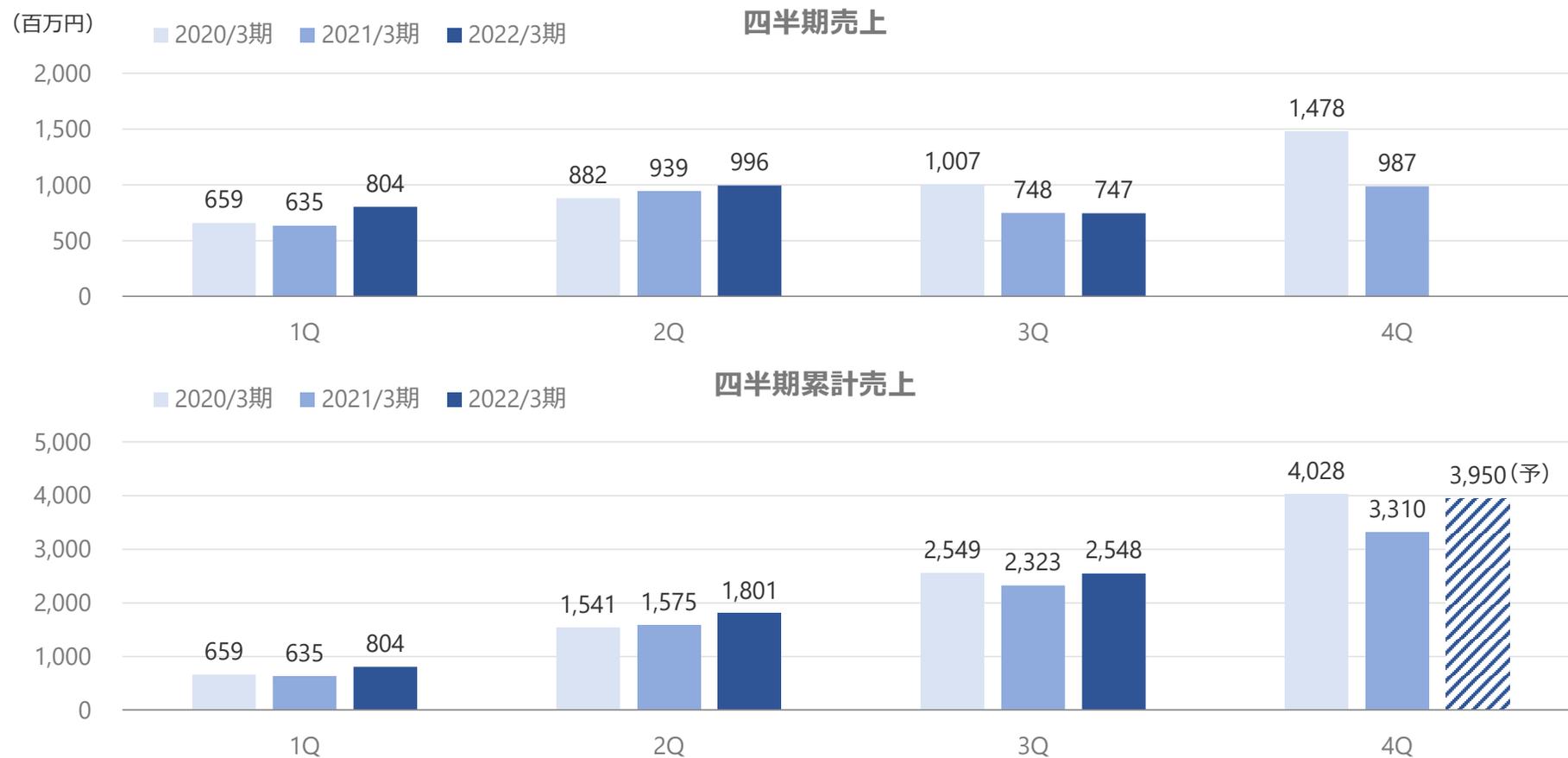


## 2022年3月期 第3四半期 決算概要

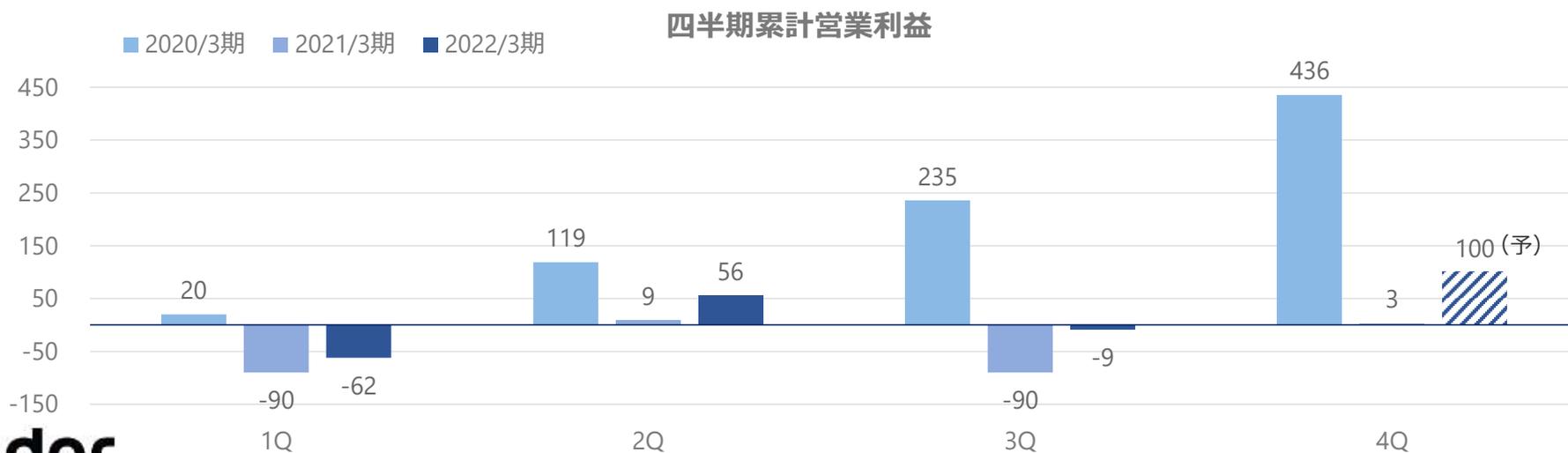
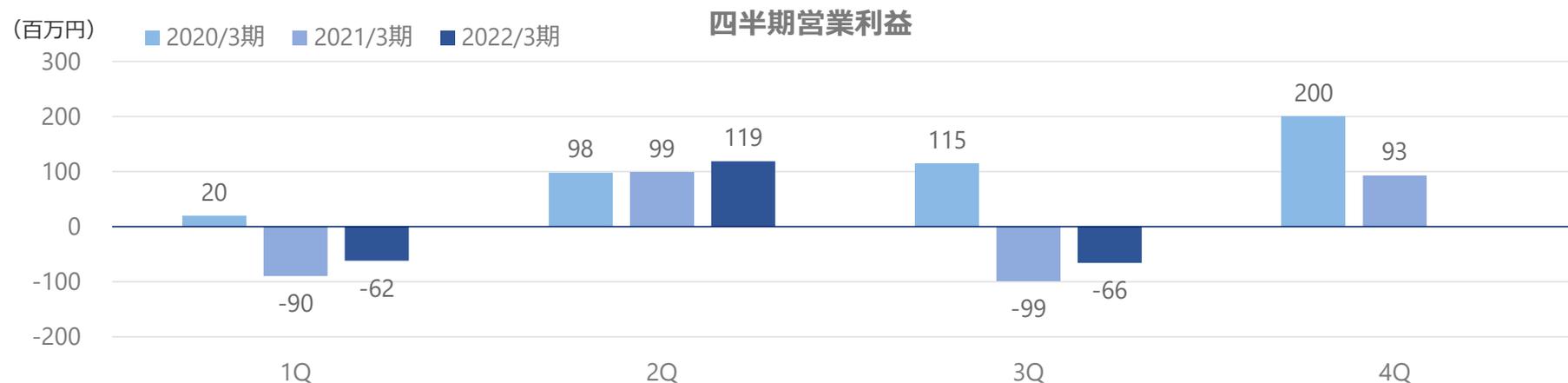
海外における4K映像フォーマット対応機器、IP対応関連機器等が好調。  
前期比9.7%の増収。通期計画達成に向け順調。

(単位：百万円)	2021年3月期 3Q実績	構成比	2022年3月期 3Q 実績	構成 %	前年同期比 %
売上高	2,323	100%	2,548	100%	+9.7%
売上総利益	1,404	60.4%	1,709	67.1%	+21.7%
営業利益	△90	△3.9%	△9	△0.4%	
経常利益	△45	△1.9%	27	1.1%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△64	△2.8%	2	0.1%	

# 四半期業績推移（売上高）

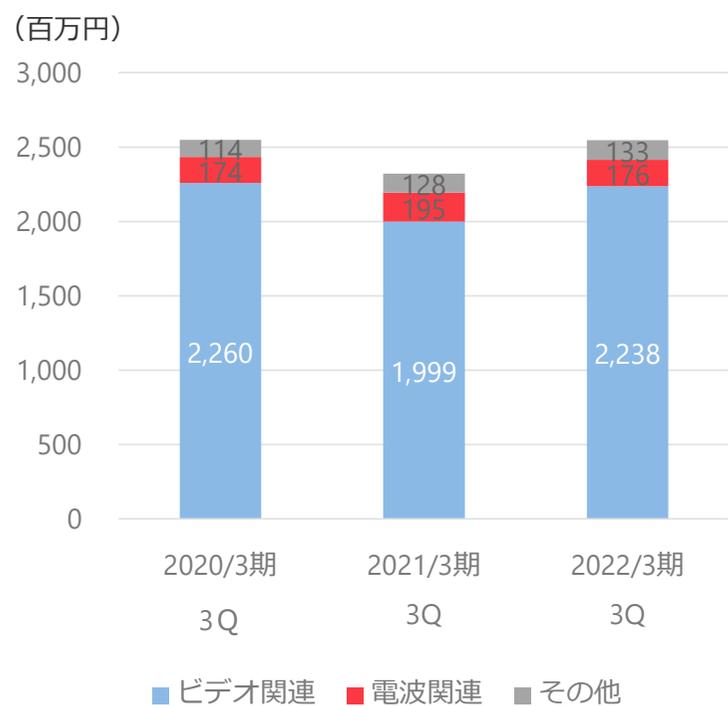


# 四半期業績推移（営業利益）

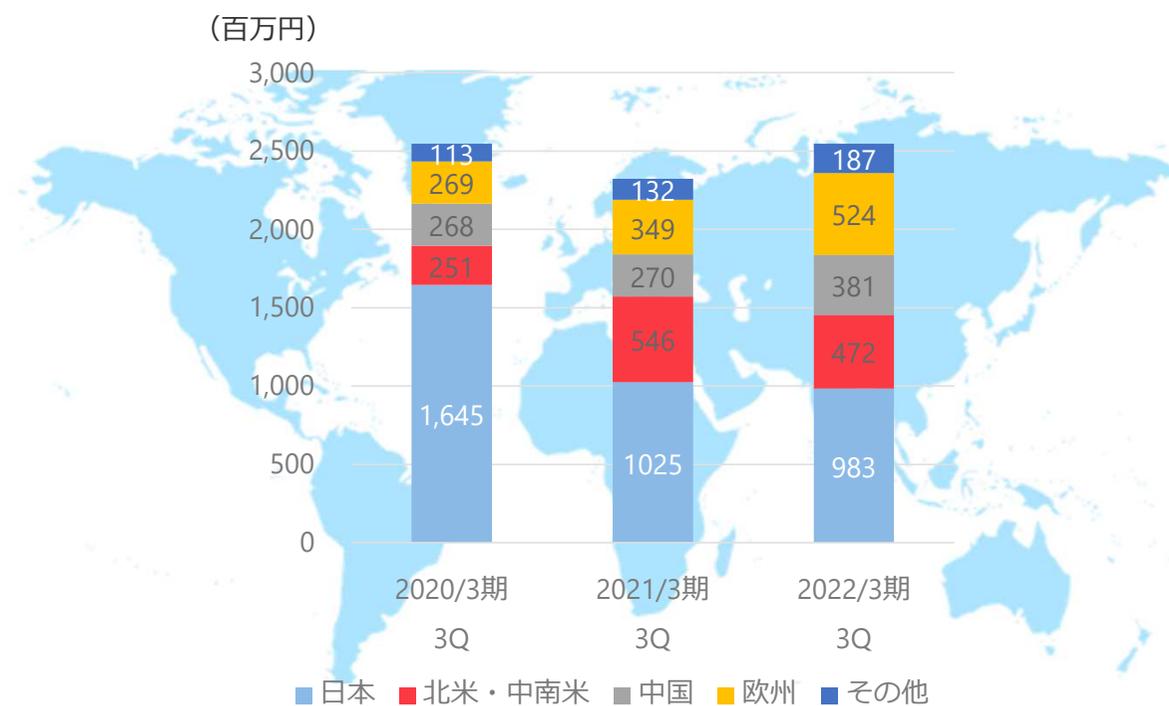


# セグメント情報

## ■ 商品別売上高



## ■ 地域別売上高



# 貸借対照表、資金調達関連

単位:百万円	21年3月末	21年12月末
<b>流動資産</b>	3,884	<b>3,967</b>
現預金	2,652	<b>2,853</b>
受取手形及び売掛金	664	<b>557</b>
商品及び製品	257	<b>289</b>
その他	309	<b>267</b>
<b>固定資産</b>	1,489	<b>1,470</b>
有形固定資産	584	<b>637</b>
無形固定資産	502	<b>421</b>
投資その他の資産	401	<b>411</b>
<b>総資産</b>	5,373	<b>5,437</b>
<b>流動負債</b>	424	<b>412</b>
買掛金	163	<b>121</b>
1年内返済予定の長期借入金	16	<b>20</b>
その他	244	<b>270</b>
<b>固定負債</b>	354	<b>399</b>
退職金に係る負債	279	<b>298</b>
その他	74	<b>101</b>
<b>純資産</b>	4,595	<b>4,626</b>
株主資本合計	4,744	<b>4,707</b>
その他包括利益累計等	▲149	<b>▲81</b>
<b>負債純資産合計</b>	5,373	<b>5,437</b>

## 主な増減要因

- 現金及び預金：+200百万円
- 受取手形、売掛金及び契約資産：△106百万円
- 買掛金：△41百万円
- その他の流動負債：+55百万円

自己資本比率84.7%（前期末比△0.4pt）

Leader

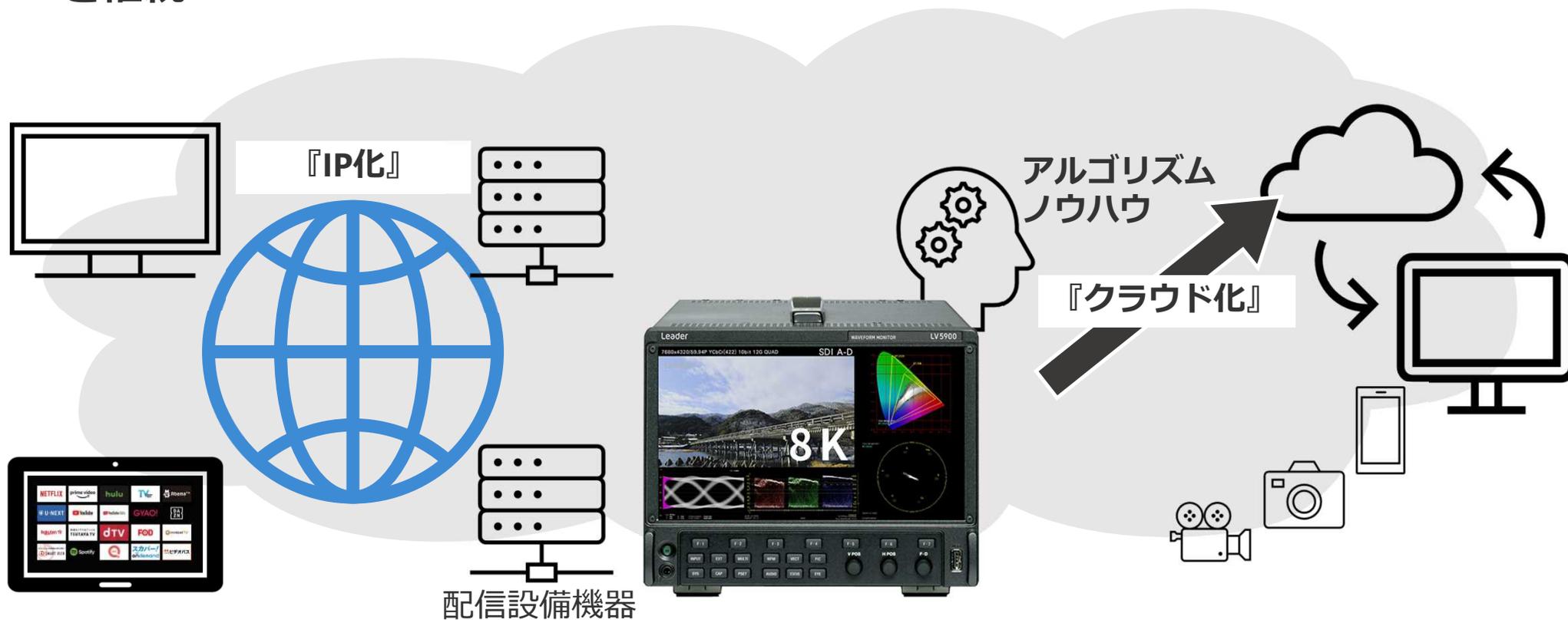
# 2022年3月期 通期計画

---



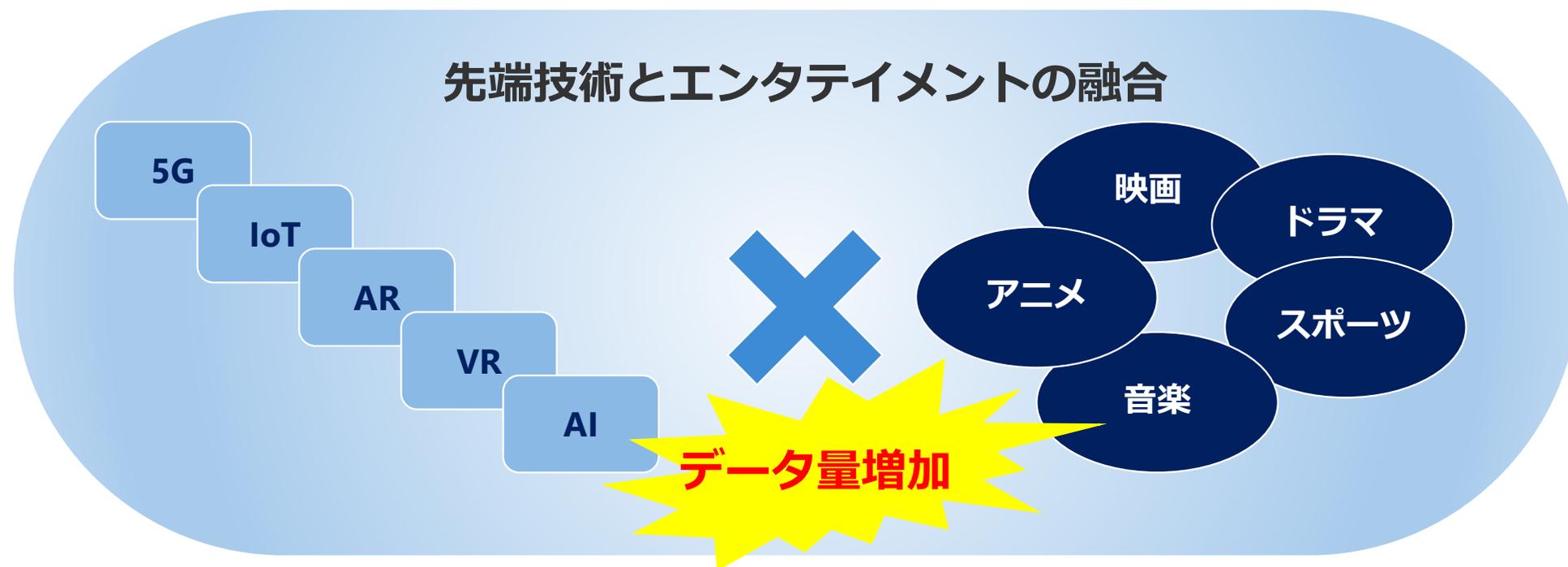
<https://www.leader.co.jp/>

急速に進む放送を取巻く2つの進化『IP化』『クラウド化』に向け、積極的投資を継続



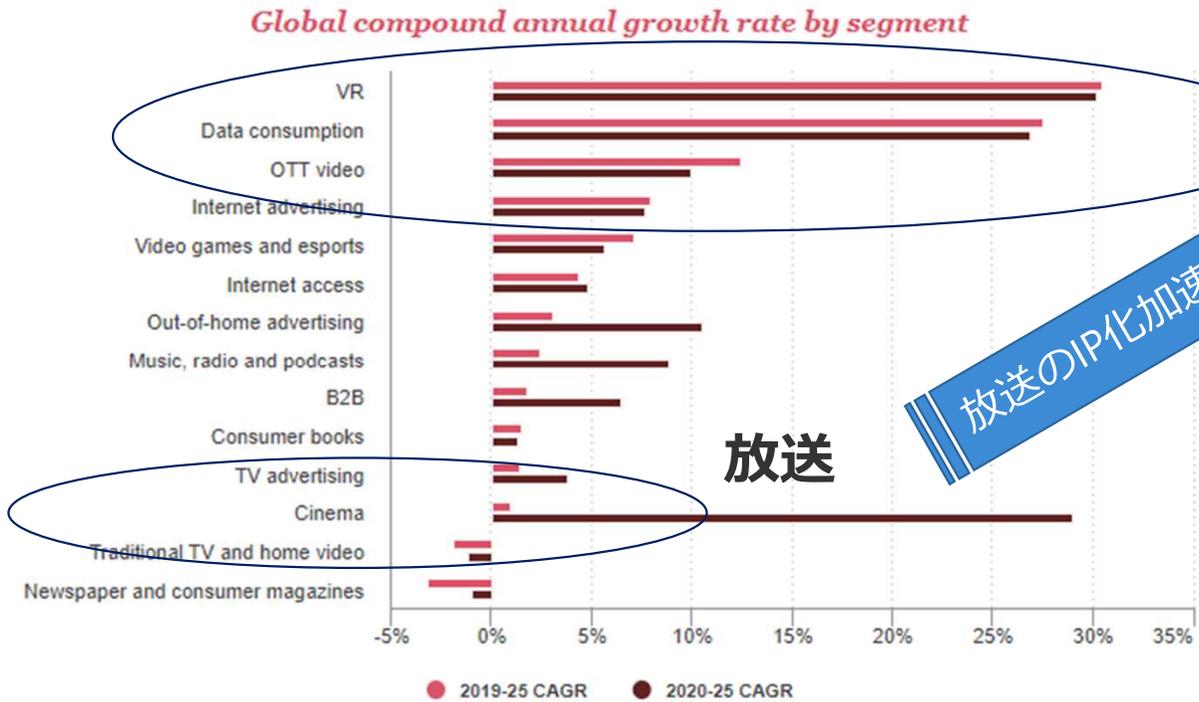
データの高画質化、付随する情報の増加により、放送で使用するデータ量が増加

⇒複数チャンネルの多重化が可能，長距離伝送の投資コスト削減



# Leader 【放送を取巻く環境変化】 COVID-19により消費者のデジタルメディア利用拡大

- デジタルやモバイルの消費者に対応した分野が急成長。世界のエンタテインメント&メディア業界の2020年－2025年のCAGRは5.0%を見込む  
(出所：PWC調査レポートより)



インターネット・通信

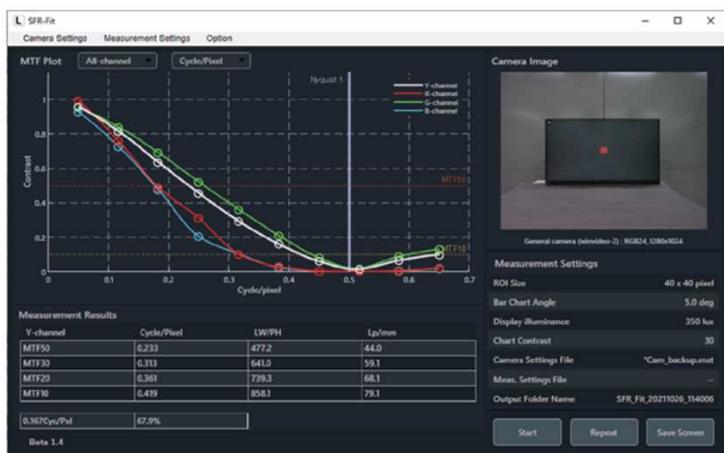
放送のIP化加速

放送



Source: PwC Global Entertainment & Media Outlook 2021-2025

カメラの空間周波数応答（SFR）を測定するためのソフトウェア

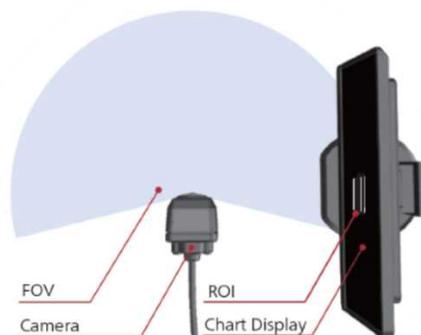


# SFR-Fit

## MTF Measurement Software

SFR-Fitは空間周波数特性を示すMTF（Modulation Transfer Function）を測定するカメラの解像度測定法です。MTFは撮像対象である被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを空間周波数特性として表現したもので、カメラの性能を評価する上で最も重要な測定項目です。これまでMTFの測定法はISO12233に基づいた傾斜エッジ法やSiemens Starチャートを使った正弦波法が一般的でしたが、SFR-Fitは画像に合わせてテストパターンを生成するため、従来 방식으로測定が困難だった大きな歪みのある画像やシャープネス等のデジタル処理をした画像にも対応した全く新しい測定法です。

- ノイズ、画像処理に強い
- 魚眼、超広角カメラにも対応
- 自由にテストチャートを配置可能
- 局所的なMTF測定が可能
- 測定エリア指定はマウス操作で簡単設定
- 簡単にMTFの測定が可能



測定箇所に合わせてテストパターンを生成する為、画角の広いカメラの周辺のMTFを測定することが可能。

## 2022年3月期通期業績計画

(単位：百万円)	2021年3月期 実績	構成 %	2022年3月期	構成 %	前年同期比 %
売上高	3,310	100%	3,950	100%	+19.3%
営業利益	3	0.1%	100	2.5%	増益
経常利益	81	2.4%	110	2.8%	+35.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	136	4.1%	140	3.5%	+2.9%

# 株主還元

## 企業成長投資と株主還元のバランス重視

(配当 : 円)

